

AERA

SUITS & VIEWS  
For MEN

STYLE

VOL.32 AUTUMN 2016

MAGAZINE

男の着こなし、スーツの場合。



福山雅治、4千字インタビュー  
逸品ファクトリー現地取材

ニューヨーク7日間の着こなし  
片岡愛之助が語る「仕事と家族」  
三越伊勢丹バイヤーが買ったもの

The MAN in the SUIT

# 美を生むケア、

# クリニックか自宅か？

今号のテーマ／疲れ顔の解消

加藤智一



## [Clinic Care]



1 片桐衣理院長。ヒアルロン酸、ボトックス注射では約10万件の治療実績を誇る。2 麻酔テープを貼った後に注入を行うので痛みはほぼない。表情に動きがあり、皮膚が薄い口もとや目もとに集中的に注射。治療後の内出血もほとんどない。3・4 ボトックスやヒアルロン酸の製剤は、クライアントの肌状態や程度に応じて、4種類のブランドを使い分ける。



部下から「疲れてますか？」と聞かれたら要注意。それは、顔色のくすみや目の下のクマによる、疲れ顔の印象のサインかもしれない。

血色がよく、パインとハリのある肌は、活力ある見た目印象の基本。ビジネスシーンでも周囲に好印象を与えることができる。ただ、年齢を重ねると、肌の老化により顔色がくすんだり、目もとにたるみやクマが現れてしまう。それが顕著になれば、周囲から「疲れている？」と心配されるほど表情に陰りが出てしまう場合もある。そこで、今回はそんな疲労感を予防する方法を紹介したい。

まず、医療のアプローチから提案するのは、肌ハリを与えるヒアルロン酸注射や、しわを緩和させるボトックス注射という方法だ。取材したのは、大手企業のエグゼクティブや政治家などの治療も手掛けている、片桐衣理・衣理クリニック表参道院長。「ヒアルロン酸はぷるぷるとした弾力のあるジェル状の物質。肌深くにごく少量をバランスよく注入することで、肌をふっくらとポリウムアップさせられます。ボトックスは筋肉



衣理クリニック表参道  
東京都港区北青山3-5-30 入来ビル4・5階  
☎03-5786-1155 診療時間 10:00~19:00  
休診日 水・日曜 \*初診料¥5,000 ヒアルロン酸注射 ¥30,000~、ボトックス注射 ¥30,000~

を弛緩させる薬剤により、皮膚に刻まれるしわを緩和させる治療法です。肌のハリや小じわはスキンケアで緩和させるのが基本だが、そんな日々のケアを若いころから丁寧に実践している男性は少ない。そこで、これらの治療を、若々しい肌へのブースターとして活用する男性が増えているという。

「男性に多いのは、はつらつとした印象に仕上げてほしいというリクエスト。大切なプレゼンテーションや株主総会などの前に、活力ある風貌に整えたいというオーダーです。その悩みに応えるべく、片桐院長が行う治療の基本はボトックスで眉間のしわを緩和させて、ヒアルロン酸で額にハリを与えること。すると、目ヂカラが強くな

るとともに、肌のハリ感が向上。生き生きとした見た目を演出できるという。「ただ、男性の場合は治療の効果が発揮されつつも、注入を受けたことがわからないような、自然な印象に上げることが大切。それは医師の技術やセンスによる部分が大きいと思います」。確かに、その微妙なあんばいを理解してくれる。かかりつけドクターがいると心強い。片桐院長のもとには、その技術力に厚い信頼を寄せて、地方から、肌のメンテナンスを受けに来る男性も多いという。「肌にハリが出ることで、見た目印象は確実に4、5歳若返ります。スキンケアにあまり時間をかけたくない、でも若々しい印象を保ちたいという要望にお応えできる治療法です」